

緑龍文化

第38号

令和7年3月31日発行

発行：龍ヶ崎市文化協会 / 編集：龍ヶ崎市文化協会広報担当

事務局：龍ヶ崎市教育委員会 文化・生涯学習課内 TEL 64-1111（内線234）

龍ヶ崎市文化協会は、市民の文化芸術活動の振興に寄与し、分野を超えて会員相互の交流を深め、龍ヶ崎市の文化の発展高揚を図ることを目的とする団体です。



加盟団体一覧

(令和7年1月現在)

No.	部会名	加盟団体名	No.	部会名	加盟団体名
1	器楽	琴ききょう	18	工芸	きの子たけの子の会
2	器楽	香美会	19	茶道	茶道部
3	日本舞踊	舞踊部	20	華道	華道部
4	バレエ	桜井クラシックバレエ教室	21	書道	書道部
5	ダンス	Nu ダンスクラブ	22	篆刻	龍ヶ崎篆刻の会
6	民謡	龍ヶ崎相撲甚句会	23	篆刻	松葉篆刻の会
7	民謡	民謡美武会	24	短歌	龍ヶ崎短歌会
8	吟詠	吟詠部	25	俳句	龍ヶ崎俳句倶楽部
9	演劇	竜ヶ崎子どもミュージカル	26	俳句	ほほえみ俳句会
10	絵画	絵画部	27	川柳	龍ヶ崎市川柳連盟
11	絵画	龍水会	28	盆栽	龍ヶ崎盆栽会
12	絵画	アートサークル馴染	29	園芸	らん友会龍ヶ崎
13	絵画	龍宮墨水会	30	歴史	龍ヶ崎歴史ロマンの会
14	写真	龍ヶ崎写真クラブ	31	器楽	ルナハワイアンズ
15	写真	全日本写真連盟 ひたち野支部	32	ダンス	済生会なでしこフラダンサーズ
16	陶芸	陶芸クラブどんぐり	33	ダンス	シャイニーダンスアカデミー
17	陶芸	長山陶芸倶楽部			

網掛けは新規加盟団体



功労者表彰

表彰者一覧 (推薦受付順)

- 庄司 忠義 (民謡美武会)
- 高 正代 (アートサークル馴柴)
- 菊池 義正 (アートサークル馴柴)
- 石川 信行 (らん友会龍ヶ崎)
- 佐藤れい子 (龍ヶ崎市川柳連盟)
- 飯野 久子 (絵画部) ※敬称略



菊池義正さん



高正代さん



庄司忠義さん



佐藤れい子さん



飯野久子さん



石川信行さん

令和七年一月二十三日(木)

松戸市・葛飾区柴又視察研修

事務局長 高 正代

寒中とは言え穏やかな晴天のもと恒例の視察研修会が会長以下参加者二十七名により、滞りなく実施されました。

行程は次のとおりです。

文化会館出発(八時四十分)

①戸定歴史公園・戸定邸

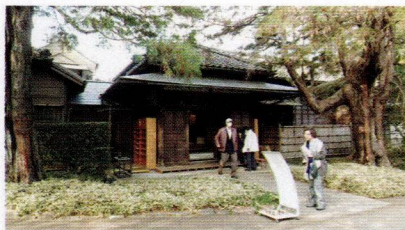
②柴又帝釈天(付近散策・自由昼食)

③松戸市立博物館

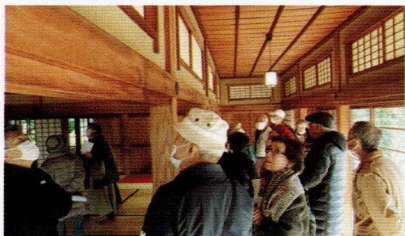
④文化会館着(十七時)

①戸定歴史公園・戸定邸

明治以降の近代徳川家の住まいと庭園が一般公開されている唯一の場所が戸定歴史公園です。庭園内にある戸定邸は、国指定重要文化財です。



松戸市・戸定邸(玄関)



松戸市・戸定邸(内部)



葛飾区柴又・帝釈天



葛飾区柴又・帝釈天参道



松戸市立博物館

純和風、木造平屋一部二階建て、建設したのは「徳川昭武」です。

「昭武」は水戸藩主・斉昭の十八男。兄の慶喜は十三歳の昭武を將軍家に迎え、將軍名代として一八六七年パリ万博博覧会に派遣しました。その時の随行員に抜擢されたのが、渋沢栄一です。その流れがNHK大河ドラマ「青天を衝け」で描かれていました。記憶に新しい方もいるかと思います。

②柴又帝釈天

「柴又」と聞くと、まず「フーテンの寅さん」を思い浮かべ

ると思います。風の吹くまま、気の向くまま、日本中を旅する寅さんが旅先や故郷で一騒動繰り広げる映画「男はつらいよ」シリーズは、私たちの年齢層にとつては馴染みの作品で、誰もが一度は見ているかと思っています。その舞台の中心である「柴又帝釈天」の正式名称は「経栄山題経寺」(きょうえいさんだいぎょうじ)という日蓮宗のお寺です。まず、日光東照宮の陽明門を模したと言われる荘厳な二天門をくぐって、本堂・帝釈天を参拝しました。その後、参道に続く老舗店巡り。各店は軒を連ね、草団子や飴・せんべい等多々販売しており、下町の人々の温もりを感じるレトロな町並みでした。

③松戸市立博物館

当館は総合公園「二十一世紀の森と広場」の中にあり、利用者の知的関心に応える施設として地域の皆さんに親しまれています。メインの総合展示室は、①人類の登場、②狩りと採集の村、③稲作社会の誕生、④武士と民衆、⑤町場と村、⑥都市へのあゆみ、と太古から現代までを誰もが興味・関心をもてるよう展示工夫されていました。その他、講堂・実習室・プレイルーム等、充実した体験型博物館でした。最後に、皆さんのご協力のもと、和気あいあいの実りある研修会となりましたことに感謝いたします。また、これを機会に会員皆様の親睦と連携がより深まりますようお願いしております。

事務局からのお知らせ

【加盟団体交付金】

交付金の充填事業の領収書は、市長名で発行する交付決定通知書の交付日以降の領収書が必要となります。事業が決定したら早めの申請をお願いします。

【市バス使用の留意事項】

予約は、利用日の三か月前からになります。

運行時間は、市役所開庁日の八時半から十七時までとなります。

会員以外の方は、乗車できませんのでご注意ください。

【会議欠席時の資料】

本例会・理事会を欠席した場合は、後日、事務局まで受け取りにきてください。

令和七年度 会議等の予定

四月八日(火) 十時から

監査…市役所附属棟一階

四月十日(木) 十時から

本例会…市役所附属棟一階

四月十七日(木) 十時から

理事会…市役所附属棟一階

四月二十四日(木) 十時から

総会…市役所附属棟一階



第33回 龍ヶ崎市民文化芸術フェスティバル

会期：令和6年10月23日～11月23日
主催：公益財団法人龍ヶ崎市まちづくり・文化財団

市民文化芸術フェスティバル

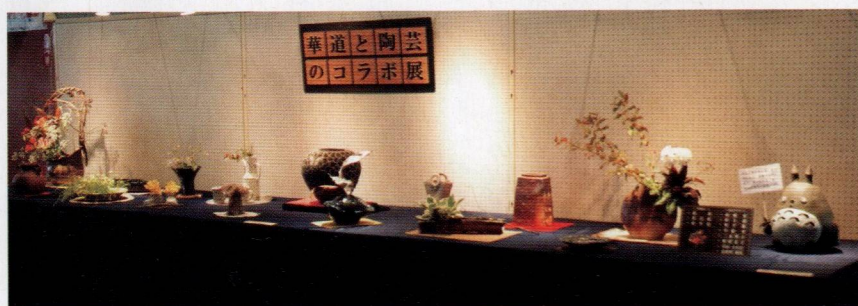
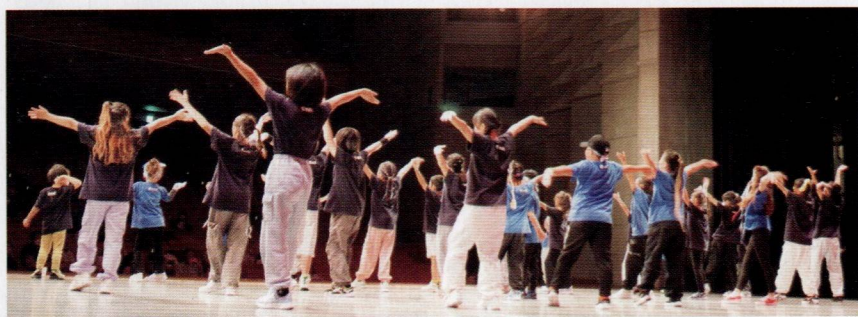
運営委員会委員長 松田 高義

新型コロナウイルス感染症発生から五年が過ぎ、この期間文化活動が規制され、十分な練習や活動ができなくなり、発表の機会も奪われ、その上に少子高齢化が進み、文化協会の会員数は約百人減少して五百人になりました。

市民文化芸術フェスティバルは、二〇二七年度の目標入場者数二万人とされる中、二〇二三年度は約一万七千人であつた結果を受け、強い危機感を抱き昨年三月末に市長との懇談会を開催しました。

その席で、各地

区コミュニティセンターで活動する文化団体のフェスティバルへの参加



を要望し、市長の快諾を得て、文化・生涯学習課、地域づくり推進課、文化会館、各地区コミュニティセンターの関係者のご理解ご協力をいただき、今年度の参加者は発表部門で

六団体、展示部門で四九人の新規の応募がありました。

しかしながら、全体の入場者数は受付方法や日程の変更により、前年を下回る一万四千七百人とどまつてしまい、今後の集客や発表のあり方の再検討が求められています。

一方で朗報もあります。バレエ・ダンスフェスに出演のルナハワイアンズ、シャイニーダンスアカデミー、なでしこフラダンスサーズの三団体、約百名が当協会に加盟していただくことになりました。今後の活躍に期待いたします。

終わりに、市長との懇談会や各地区コミュニティセンターへの協力要請を今後も継続していきながら、文化の祭典・文化芸術フェスティバルを中心とした文化芸術活動を盛り上げてまいります。



発表の場を頂けます
ことに感謝しながら、
来年はまた何を書こう
かと皆で夢を膨らませ
ながら、会場をあとに
しました。

各自が好きな「文言」
を選んで作品にしたた
めましたところ、予想
外の生き生きした個性
あふれる作品が出そろ
いました。出品者の
方々も書道の楽しさを
味わうとともに、達成
感を得るという喜びを
体験することにも繋が
りました。

展示の部

- 10/23 (水) ~ 27 (日)
陶芸・工芸展
- 10/25 (金) ~ 27 (日)
盆栽展
- 10/30 (水) ~ 11/3 (日)
書道・俳句・短歌・川柳展
- 10/31 (木) ~ 11/4 (月)
写真・篆刻展
- 11/ 6 (水) ~ 10 (日)
絵画展
- 11/ 9 (土) ~ 10 (日)
いけばな展
- 11/13 (水) ~ 17 (日)
団体展示
- 11/15 (金) ~ 17 (日)
洋らん展

発表の部

- 10/27 (日)
歌謡舞踊と小曲のつどい
- 11/ 4 (月)
吟詠・津軽三味線・箏曲・民謡・
相撲甚句・日本民舞のつどい
- 11/ 9 (土)
バレエ・ダンスフェス

体験催事

- 11/ 2 (土)
篆刻体験コーナー
- 11/10 (日)
いけばな体験教室
- 11/16 (土)
テーブルフラワー教室
- 11/16 (土)
茶会



昨年秋の文化芸術フェス
ティバルでは、一般市民から
の作品に加え、地元の書道教
室に学ぶ小中学生が参加しま
した。今年は、私共が今春か
ら指導を担当してまいりまし
た福祉施設「あざみ」の書道
会員の方々にも参加をお願い
いたしました。

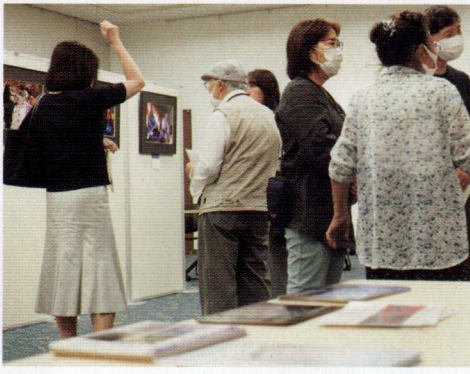
書道展・特別展示
新井 洋子

加盟団体の活動報告

全日本写真連盟ひたち野支部

四月、十二名の会員で十五年目の活動を開始し、毎月第三土曜日に例会を持ち、講師による投影作品（十点以内）、プリント作品（五点以内）を各月交互に各自講評を頂いています。

五月の文化の祭典、十一月の文化芸術フェスティバルに展示参加、十月は当クラブのメインであるサプラ展示場において、四十三点の展示（一人三点＋講師、前年度各コンテスト入賞作品、五日間の写



真展を開催し、約六百人の来場者にご鑑賞いただき好評を得ました。

また、十月から五回にわたり「デジタル初心者講座」を市民活動センター主催（龍ヶ崎市教育委員会後援）で、当支部会員が講師として、市民を対象に十五名を応募し、三日間で募集数に達しました。

十月～二月（各月第二土曜日）まで同センターにおいて、講座を催しました。

十二月には日帰り撮影会を実施し、埼玉県新座市にある「平林寺」に、晩秋の紅葉の一枚をカメラに収めてきています。どこかの機会での発表が待たれるところです。

松葉篆刻の会

松葉篆刻の会は二〇一二年四月、松葉コミュニティセンターを活動拠点にして発足し、十二年経過しました。現在、会員は八名です。

例会は毎月第四木曜日の午後から行っています。作品は、文化の祭典、文化芸術フェスティバル、松葉コミュニティ

センター文化祭等に出席しています。

小さな印材に秦の始皇帝の時代に成立した篆刻体の文字を丁寧に彫りあげています。

同じような題材でも製作者がそれぞれの個性ある文字をデザインし製作しています。これも製作の楽しみの一つです。小さな作品ですが、より良い作品作りに励んでいます。



吟詠部

この度、吼山流吟道総本部において、全国吟詠コンクール大会が開催されました。吟詠部からは奥伝の部に二名が参加しました。



6年11月24日 第64回吼山流全国吟詠コンクール大

一名は市内緑町在住の里嘉涼で優勝しました。もう一名は取手市在住の川島嘉朋で次点に入賞しました。とてもうれしい限りです。おめでとうございます。

文化の祭典と文化芸術フェスティバルの二回の大ホールでの発表会は、このような大きな大会に向けたリハーサル会場となっています。感謝しております。

吟詠部の会員数はどの流派も減少しています。どうぞ興味のある方は詩吟を始めてみませんか。大きな声を出すことは健康にもつながります。初心者大歓迎です。

龍水会

龍水会は発足から今年で二十三年を迎えました。発足時は水墨画の会として始めたもので会の名称の由来はその時の名残です。

会員数は纏まりのある二十名位を目安にしていますが、従来の水墨画だけでは会員が増えないことがわかっていましたので、全てのカテゴリーを可とすることにより、二年後には十名増えていました。

人数が増えることにより、スケッチ研修を独自に開催することができ、会員の交流も活発になり、昨年は真壁、今年には佐原の街並みと香取神宮のスケッチ研修を実施しました。月一回のふれあい公園アトリエでの制作会を定期開催しています。ジャンルも水墨画に加えて油絵、日本画、パステル画、水彩画等々、バラエティに富み、それぞれの画法を皆で教えあうことにより、絵の幅が広がったように思います。会員も十七名になり、次なる展開を考えています。

「二人一人が先生になり、お互いの個性を尊重し、批判はしない。前向きな意見を言う」そのような会風が根付いてきました。



龍ヶ崎歴史ロマンの会

十二月一日の朝、旧諸岡家赤レンガ門の野外ステージで「きつねの嫁入り」があり、人力車に乗って、きつねの花婿花嫁が登場しました。

吟詠部の岡島氏が祝吟を謡い、龍神太鼓の音が晩秋の空に響き渡りました。午後は、旧小野瀬家住宅で琴の演奏や舞踊、書や水墨画の展示とお茶席があり、来訪者は楽しい

時間を過ごしていました。

当日、私たち歴史ロマンの会も「和 문화にふれあうなま」主催のイベントに参加しました。これからも歴史的な遺産の遺跡や古民家でお祭りやコンサート等を開催し、龍ヶ崎市独自の文化と歴史を守りつつ、現代に生かすことを考えたいと思っています。



竜ヶ崎子どもミュージカル

竜ヶ崎子どもミュージカルは「劇団大きな夢」に所属する全国二十六か所にあるカンパニーの一つです。二〇〇四年十月に父母会によって市内に発足し、今年の六月には、



第二十回公演『ロンの花園』を大昭ホールで上演する予定です。

劇団員は、小学生から高校生までで、龍ヶ崎市内や近隣の市町村から集い、演技、歌、ダンスのレッスンを受けています。一年の半分は、地域のイベントに出演しながら、発声、滑舌、歌、ダンスなどの基礎レッスンに励み、十一月のキャストオーディションを終えてからは、六月の公演に

向けたレッスンに励んでいます。

講師は愛情をもって子どもたち一人ひとりと向き合い、子どもたちも、ライバルとして、仲間として、一つの舞台を創り上げる中で大きく成長しています。普段は、とても素直な子どもたちが、表現することに真剣に向き合い、演技、歌、ダンスでお客様を魅了する舞台となっています。ぜひ、多くの方に観ていただきたいと思っています。

龍ヶ崎相撲甚句会

相撲甚句は享保年間より

三百年の歴史があります。

力士たちの口から耳、耳から口へと歌い継がれ大相撲の世界に伝わってきたものが、その一方、相撲人気に左右されながら、相撲愛好家や花街の世界などで幅広く歌い継がれてきた伝統文化です。

龍ヶ崎相撲甚句会は毎月第一第三木曜日の午後一時三十分から龍ヶ崎市民活動センターで練習会を行っています。見学自由ですので興味のある方はぜひ、お越しください。

相撲甚句には力士や相撲界の歌ばかりでなく、その土地の名所旧跡や誕生祝、面白話など自由に作詞し唄う楽しみがあります。大声で唄ったり歌詞を暗記したりすることは認知症予防にもなるのではないかと一同頑張っております。三味線、太鼓など楽器は使いません。ドスコイ・ホイの掛け声だけで唄います。

また、活動は地域の敬老祝賀会や老人施設に招かれ相撲甚句を披露しています。



香美会

こどもをメインとしながら親子で学べるお箏教室を開講して五年目になりました。日本の伝統文化を伝承していきたい想いが地域にも拡がり、市民文化芸術フェスティバルや文化の祭典に参加し、介護施設の慰問交流会やコミュニティセンターまつりになどに参加しています。

こどもたちは、伝統文化を習得することで成長し自分に自信が持てるようになっていま



す。そんなこどもたちのコメントです。

お箏を初めた頃は指の使い方や楽譜に戸惑いました。練習し上達することで難しい曲ができるようになり楽しくなりました。

(K)

お箏も面白いけど、弾くことだけでなく、学校や年齢も違う人と交流が持てるのが楽しかったです。

(M)

一期生として今まで二箏を担当するなど難しい曲をしてきたので、今後も継続し、技術を高めていきたいです。(A)最初はどの弦を弾くのか覚えるのが大変でしたが、頑張つて練習をしていくことに、テンポよく弾けるようになり、楽しく、続けられています。

(M)

お箏は音符を読めなくても楽譜が漢数字で書かれていているのでわかりやすく、すぐに慣れることができるので未就学児からでも始められます。

月に二回、日曜日の午前中にコミュニティセンターで活動しています。是非一緒にお箏の音色に癒されてみませんか。

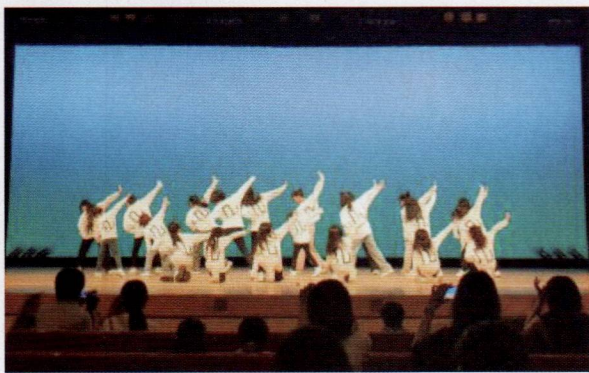
Nuダンスクラブ

こんにちは、Nuダンスクラブです。週末にK-POPのダンス練習をしています。

流行りの曲から懐かしいコアな曲まで様々な楽曲を極めています。

踊りたい希望の楽曲をヒアリングして、その都度クラスで練習するので、楽しくK-POPを踊れます。

また、クラス毎にレベルも分かれており、ただダンスを楽しく踊れるクラス、もう少し本格的に振付を練習するク



ラス、女性アイドル楽曲を立ち位置も含めマスターするクラス、男性アイドル楽曲を立ち位置も含めマスターするクラス等がありそれぞれのクラスでみなさん一生懸命楽しく活動しています。

日々練習した成果を五月の文化の祭典と十一月の文化芸術フェスティバルにて出演させて頂いたが、発表しています。

発表の場が近くなると一日に四時間以上練習する子もいます。他にも地域のイベントに出場したり少人数でオーディションに映像を送ってみたりと積極的に活動しています。

らん友会龍ヶ崎

私たちの会も二十三年目を迎えます。

基本的には二十五名の会員で、毎月第四日曜日に定例会を実施しています。定例会では各自が育てた洋らんを持寄り、互いに評価・質問してレベルアップを図っています。

また、毎年の教材を決めて、育て方の勉強会も行っていて、咲かせたときの喜びは何とも



言えません。洋らんに興味のある人には、会員が講師となつて講座も実施しています。

会では、文化の祭典と市民文化芸術フェスティバルに積極的に参加、独自に冬の洋らん展も開催しています。昨年度からは龍ヶ崎コミュニティセンターに場所を変更して親睦を深めています。十月には、日帰りの研修会で展示会の観賞や苗の購入等を行っています。

洋らは品種によつては温室がなくても花を咲かせることができます。らん友会に入会して洋らんと一緒に咲かせてみませんか。